

令和6年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況

産業経済部長 塩谷 明永

○ 令和6年度重要事業

事業名	市内経済の振興と中小企業等への支援の実施
目標	令和6年能登半島地震や長期化する物価高騰等により多大な影響を受けている中小企業や市民に対して的確な支援を行うことにより、地域経済の活性化を図ります。
年度末達成状況	市商工協議会が実施する事業、生活支援・消費喚起事業を支援することで、復興支援及び地域経済の活性化に取り組みました。 また、市内中小企業の売上向上を目指し、販路拡大や新商品開発等、様々な課題解決に向けた伴走支援を行う、ビジネス支援センターを新設しました。
自己評価	市内商工団体と連携し、実効性のある事業、生活支援・消費喚起事業に取り組むことができました。物価高騰や燃料費の上昇への対応に加え、商品への確実な価格転嫁など、幅広い分野において、引き続き、商工団体と連携し、また、新たに開設するビジネス支援センターでも積極的に支援を行い、より一層の中小企業の支援に取り組めます。

事業名	観光の振興と移住・空き家利活用の促進
目標	道の駅周辺エリアの整備を進めるほか、多様な観光資源を磨き上げ、インバウンド誘客を推進し「稼げる観光」の実現に取り組みます。併せて、移住や空き家利活用に関する情報発信や様々な相談等をワンストップで行う体制づくりと、内川周辺エリアの更なる価値向上に取り組み、観光客や移住希望者に選ばれるまちを目指します。
年度末達成状況	道の駅周辺エリアの整備については、令和7年11月のリニューアルオープンに向け設計や工事を進めたほか、「稼げる観光」の実現に向け、台湾での観光トップセールスや、富山新港花火大会及び新湊曳山祭りでの有料観覧席の本格販売に取り組みました。 また、移住と空き家の相談窓口「#みらいシテン射水」を令和6年10月に開設し、移住希望者や空き家利活用希望者に対する情報発信やワンストップで相談できる体制を整えました。 加えて、市内外の若手有識者で構成する内川未来戦略会議を開催し、内川周辺エリアの価値向上に向けたビジョンを取りまとめました。
自己評価	掲げた目標に向け着実に前進することができました。引き続き、官民が連携し観光客や移住希望者に選ばれるまちづくりに取り組みます。

事業名	農林水産業の推進
目標	循環型農業や環境負荷低減の取組を推進するとともに、農産物の付加価値向上につながるよう、もみ殻シリカ灰を原材料とした土壌改良資材肥料の普及・拡大に取り組みます。 また、資源管理型漁業と「いみずのさかな」ブランド力の更なる向上に努めます。 併せて、昨年7月の豪雨災害及び令和6年能登半島地震により被害を受けた一次産業を支える生産基盤の早期復旧に努め、持続可能な農林水産業を推進します。
年度末達成状況	もみ殻シリカ灰を原材料とした土壌改良資材肥料は今年度936.6haにおいて本格施用されました。 また、台湾への観光トップセールスをはじめ、各種イベントを通じていみずの農・水産物の魅力を国内外へ発信し、いみずブランドの向上に努めました。 災害により被害を受けた農業用施設や漁港施設、農道橋については、関係機関と継続的に協議・調整を行いながら復旧工事に取り組んでいます。
自己評価	引き続き、循環型農業・資源管理型漁業の普及・啓発活動に取り組むとともに、災害復旧については全ての施設において、一日も早く安心して農林水産業が営めるよう、引き続き、復興支援に取り組めます。